

2.9.2 附属施設：附属牧場

構成員：教授	祝前 博明
准教授	北川 政幸
技術専門員	村上 弘明
技術専門職員	松平 範康
技術専門職員	長瀬 祐士
技術職員	吉岡 秀貢
技術職員	北村 祥子
技術職員	松山 隆次
事務職員	井口 和夫

A.研究活動(2010.4～2011.3)

A-1.研究概要

a) 肉用牛における飼養管理の改善に関する研究

雌牛の繁殖成績の向上、哺乳子牛の下痢予防および育成成績の向上などの肉用牛の飼養現場における諸課題について、肉用牛の繁殖生理、衛生・飼養管理などの面から検討している。これらのうち、繁殖成績、育成成績については、それぞれフィールドノートの記録、離乳時期と飼養管理を見直すことによって、受胎率や子牛の発育の改善が図られてきている。

b) 肉用牛の機能開発に関する基礎的研究

農学研究科および情報学研究科などの関連研究分野と緊密な連携を図りながら、肉用牛を用いて、物質循環、繁殖雌牛のミネラル代謝の把握に基づく環境負荷の軽減について検討するとともに、ビタミン C 製剤の利用率、被毛中の安定同位体比とそれぞれ上質牛肉生産、飼料履歴の可能性との関係についても検討している。

c) 未利用・低利用資源の飼料化技術の開発に関する研究

わが国の肉用牛生産は輸入飼料に依存する割合が高いために、地域で発生する未利用・低利用資源の飼料技術の開発が求められている。そこで、南丹地域における調査を実施するとともに、いくつかの食品副産物を用いて混合飼料(TMR)を調製したあと、育成牛および肥育牛を用いて嗜好性と増体の面から検討しており、地域の飼料資源の有効利用につながることを期待される。

A-2.研究業績(国内・国外含む)

a) 成果刊行

報告書等

北川政幸・熊谷元・岡野寛治・東井滋能・合田修三・村上知之:農場副産物ならびに食品工業副産物の飼料機材としての評価と飼料利用技術の開発, 未利用・低利用資源の飼料利用の検討(飼料化及び給与試験結果報告);169-216, 2010 (社)中央畜産会 東京

吉岡秀貢・村上弘明・長瀬祐士・北村祥子・松山隆次:京都大学附属牧場における黒毛和種育成管理の変更と子ウシの発育の変化. 第 13 回技術職員研究集会報告書; 8-10, 2011 京都大学大学院農学研究科技術部

b) 学会発表

第 60 回関西畜産学会(6 件)

A-3.国内における学会活動など①

所属学会等(役割)

教員名:北川 政幸

学会名(役割)

日本家畜管理学会(評議員)

肉用牛研究会(評議員)

畜産システム研究会(評議員)

日本産肉研究会(代議員)

競争的資金等獲得状況

その他の競争的資金

資金名称 受託研究費(農水省:平成 22 年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業)

研究代表者 家木 一(愛媛県農林水産研究所)(北川 政幸 分担)

研究課題名 白色腐朽菌処理による木質飼料の消化性向上技術を活用した牛用タケベレット飼料の開発

B.教育活動(2010.4～2011.3)

B-1.学内活動

a) 開講授業科目(担当教員)

学部

畜産技術論と実習Ⅰ(北川)、畜産技術論と実習Ⅱ(北川他)、資源生物科学基礎実験(北川他)

C.その他

教員名

北川 政幸

審議会等名称

京都府南丹地域資源循環型畜産の確立協議会(座長)

京都府南丹教育局/ 小・高・大連携 環境・食育校種間連携パートナーズスクール事業(協力員)